

令和 7 年度
北区飛鳥山博物館事業計画

2025.03

1 令和7年度展示・イベント・講座・講演会事業計画のポイント

(1) 展示事業

- 「奥山峰石先生米寿記念展」の開催
 - ・総務課が主管課として行う「奥山峰石先生米寿記念展」を、当館を会場として開催する。
- 夏期スポット展示と秋期スポット展示の開催
 - ・「奥山峰石先生米寿記念展」の開催に伴う日程調整の結果、夏休みわくわくミュージアム展示の代わりに時期を変更して夏期スポット展示を行う。
 - ・秋期企画展の代わりに秋期スポット展示を行う。
 - ・秋期スポット展示は内容の異なる2つの展示を同時開催する。

(2) 講座・催し物事業

- 夏休み以外での子ども向け講座の充実
 - ・昨年度、夏休み以外に試験的に行った子ども向け、親子向けの講座が好評だったことから今年度はさらに充実させる。
- リレー講座の復活
 - ・開館25周年の年に学芸員全員によるリレー講座を行ったが、今年度の講座参加者より復活を望む声が聞かれたので、テーマを変えて行う。

2 展示・イベント・講座・講演会事業数

(1) 展示

企画展	2回
特別展覧会	2回
学校対応展示	1回
スポット展示	2回
<u>常展活用展示</u>	1回
計	8回
(令和6年度)	9回)

(2) イベント

夏休みわくわく	<u>ミュージアム</u>	1回
計		1回
(令和6年度)		1回)

(3) 講座・催し物

一般向け講座	37講座	52回
展示関連講座	9講座	14回
<u>わくわく講座</u>	13講座	27回
	59講座	93回
(令和6年度)	63講座	94回)

令和7年度の事業 ※名称は仮称、実施日・回数は予定。

1. 展示

★ 企画展 2回

No.	企画展名	実施予定期間	会場	担当
1	令和6年度春期企画展 丸木舟ラボー縄文の舟にまつわる4 つのはてなー	3月18日(火)～ 6月15日(日)	特別展示室 ホワイエ	安武
〈概 略〉				
北区中里遺跡出土丸木舟の発見40周年を記念して、丸木舟からわかる縄文人の知恵や工夫、生業、社会の仕組みについて紹介する。				
〈ねらい〉 区内遺跡の周知、地域への興味関心の喚起。		〈対 象〉 一般		
〈備 考〉				
2	令和7年度春期企画展 (仮) Road to 日光 (NIKKO) ! ～徳川将軍の御成道～	令和8年3月17日(火) ～5月31日(日)	特別展示室 ホワイエ	佐々木
〈概 略〉				
日光御成道は歴代の江戸幕府の将軍たちが日光東照宮へ社参する際に利用された街道で、現在でも比較的に江戸時代からの道筋がよく残っている街道のひとつである。近年は、街道が成立した近世史の視点からだけではなく、その前後の時代の街道機能についても評価が定まってきている。その一方で、江戸一岩槻を結び、日光道中へつながるという道の性質から、埼玉県側からの研究が多いのが実情である。				
本展では、近年の研究成果を踏まえながら、北区域周辺（江戸方向）からみた御成道そのものと、その周辺に住む人々の暮らしを村絵図や文書等を用いて紹介したい。				
〈ねらい〉 区内の歴史・地域への興味関心の喚起。		〈対 象〉 一般		
〈備 考〉				

★ 特別展覧会 2回

No.	企画展名	実施予定期間	会場	担当
1	人間国宝奥山峰石米寿記念展	8月30日(土)～ 9月21日(日)	特別展示室 ホワイエ 講堂	久保埜
〈概 略〉				
奥山峰石氏が米寿を迎えたことを記念して、同氏の故郷・山形県新庄市と北区が所蔵する作品をあ				

わせて約 80 点を一堂に展示する。

〈ねらい〉 美術工芸分野に関心がある層の来館を促す。		〈対 象〉 一般
〈備 考〉 総務課が主管課だが、展示の主催は奥山峰石氏となる。当館では展示のみを担当する。		
2	特別展覧会「第 24 回 人間国宝奥山峰石と北区の工芸作家展」	9月 30 日(火)～ 11月 3 日(月・祝)
特別展示室 ホワイエ 久保塁		
〈概 略〉 北区在住の鍛金工芸作家である人間国宝・奥山峰石氏を中心に、北区にゆかりのある工芸作家の作品を一堂に展示する。		
〈ねらい〉 美術工芸分野に関心がある層の新規来館を促す。		〈対 象〉 一般
〈備 考〉		

★ 学校対応事業展示 1回

No.	企画展名	実施予定期間	会場	担当
1	来て、見て、知って！昔のくらし展	令和8年1月6日(火)～ 2月 28 日(土)	特別展示室	安武
〈概 略〉 小学校中学年の「むかしをしらべる」の単元に対応する事業。館所蔵の大正の終わり頃から昭和の中ごろの生活用具を展示し、くらしの変化を紹介する。				
〈ねらい〉 昔の人々の暮らししぶりの理解と時代の変化を学ぶ機会とする。		〈対 象〉 小学生および一般		
〈備 考〉				

★ スポット展示 2回

No.	企画展名	実施予定期間	会場	担当
1	夏のスポット展示 (仮) 考古学者は謎を解く part1	7月 12 日 (土)～ 8月 11 日 (月・祝)	特別展示室	鈴木
〈概 略〉 資料の観察からどんなことが分かるのかを解説する謎解きの展示。				
〈ねらい〉 考古学に親しむ。館蔵資料の活用。		〈対 象〉 一般		
〈備 考〉				

2	秋のスポット展示 (仮) 北区の種苗業／(仮) 考古学者は謎を解く part2」	11月15日（土）～ 12月14日（日）	特別展示室 ホワイエ	谷口 鈴木
〈概 略〉				
特別展示室とホワイエの2会場で異なる2つの展示を行う。前者は近世から近代における北区域の種苗業について、当館所蔵の種苗業関連資料や種苗として扱われた作物のカタログなどを中心に紹介する。後者は夏のスポット展示の第2段。				
〈ねらい〉 北区の種苗業への理解を深める。考古学に親しむ。館蔵資料の活用。 〈対 象〉 一般 〈備 考〉				

★ 常展活用展示 1回

No.	企画展名	実施予定期間	会場	担当
1	〈回想のための〉テーマ展示「オボエテマスカ？—懐かしの暮らしと道具一」	4月26日（土）～ 6月22日（日）	常設展示室	久保埜
〈概 略〉				
回想法の手法を導入しながら、当館所蔵の生活用具等の資料を水塚の母屋とその周囲に展示する。				
〈ねらい〉 常設展示を活用しながら、高齢者、特に高齢者施設の利用を促す。 〈対 象〉 一般 〈備 考〉				

2. イベント

No.	企画展名	実施予定期間	会場	担当
1	夏休みわくわくミュージアム☆ 2025	7月19日（土）～ 8月24日（日）	体験学習室 館内	工藤 安武
〈概 略〉				
館内周遊型のクイズラリーや絵本ぬり絵コーナー（2階・3階）、「ブラックコン吉を探せ！」（常設展示室）、わくわく体験講座など館内各所で夏休みの子供向けイベントを開催する。				
〈ねらい〉 夏休みの宿題の素材を提供する。地域の博物館に足を運ぶきっかけを作る。 〈対 象〉 幼児・小学生と保護者 〈備 考〉				

3. 講座・講演会

★ 一般向け講座 37講座 52回

No.	事業名	開催予定日	会場	定員	担当
1	江戸在勤の愉しみー単身赴任武士の絵日記を読むー	4月27日（日）	講堂	60名	佐々木
〈概 略〉					
幕末期に庄内藩から江戸在勤となった上級藩士・松平造酒助の絵日記（原本：神奈川県立博物館）の中から城北・城東地域での記述を読み、江戸へ「単身赴任」してきた武士の生活を紹介する。					
〈ねらい〉					
地域の歴史に対する興味・関心の喚起					
〈対 象〉					
一般					
〈備 考〉					
新規講座。					
2	子ども向け体験講座「こいのぼりをつくろう！」	5月3日（土）AM・PM 計2回	講堂	各10組 20～50名	安武
〈概 略〉					
収蔵資料をみながら、オリジナルのこいのぼりを作る。					
〈ねらい〉					
伝統行事に触れる。親子時間の提供。利用者層の拡大					
〈対 象〉					
3歳児（年少）～小学生と保護者の2～5名1組 ※保護者は2名まで					
〈備 考〉					
継続講座					
3	学芸員リレー講座「“衣”にまつわる3つのお話」	5月17日・6月28日・7月19日各（土）全3回	講堂	60名	鈴木 佐々木 谷口
〈概 略〉					
原始・古代から近代における衣服について、それぞれの学芸員の視点で解説する。					
〈ねらい〉					
博物館の周知、興味関心を促す。服飾文化への興味関心を促す。					
〈対 象〉					
一般					
〈備 考〉					
新規講座 第1回原始・古代：鈴木 第2回中世・近世：谷口 第3回近代：佐々木					
4	北区遺跡学講座 2025「中里峠上遺跡」	5月24日（土）	講堂 野外	25名	高坂
〈概 略〉					
北区内の1遺跡を詳しく解説するシリーズ講座。博物館で座学を行ったのちに、現地を見学する。					
今回は中里峠上遺跡を訪れる。					
〈ねらい〉					
〈対 象〉					

区内遺跡や考古資料への理解や関心を高める。		一般			
〈備 考〉 継続講座。					
5	地域と展覧会一北豊島郡の事例からー	5月 25 日（日）	講堂	60 名	佐々木
〈概 略〉 近代以降各地で実施された博覧会や展覧会のうち北豊島郡内の事例から、それらが地域に何をもたらしたのか、主催者側は何を意図したのかを考える。					
〈ねらい〉 地域の近代史への興味関心の喚起			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 新規講座。					
6	北区ジュニア考古学クラブ 2025	6月 15 日・29 日・9 月 7 日・11 月 16 日・ 30 日・2 月 8 日・22 日 各（日）全 7 回	体験学習室 野外	20 名	安武 鈴木
〈概 略〉 博物館や野外の遺跡を会場とした、小中学生向けクラブ活動。1年を通して、考古学に関する活動を行う。					
〈ねらい〉 利用者層の拡充。歴史好き小中学生への活動の場の提供。			〈対 象〉 小学3年生～中学生		
〈備 考〉 子どものみ（要送迎）。野外見学の際、小学生は保護者同伴。継続講座。					
7	麦わら蛇とお富士さん	6月 22 日（日）	講堂 野外	25 名	田中
〈概 略〉 7月 1日の十条富士塚大祭と縁起物の麦藁蛇について解説した後、十条富士塚と近郊の富士塚を現地見学する。					
〈ねらい〉 区内の富士信仰について知る。指定文化財の十条富士塚などを現地でみるとによって、富士塚の構造を理解し、関心を高める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座。					
8	北区文化財めぐり一西ヶ原近代 建築編一	6月 27 日（金）	野外	25 名	山口
〈概 略〉 西ヶ原・滝野川地域に現存する近代建築（旧渋沢家飛鳥山邸・醸造試験所第一工場・印刷局滝野川					

工場・旧古河邸・北村西望長屋門等)を現地で解説する。					
〈ねらい〉 近代建築の魅力を伝えるとともに、西ヶ原・滝野川地域の歴史についての理解を深める。			〈対象〉 一般		
〈備考〉 継続講座。					
9	史料からひも解く「田楽」	7月21日(月・祝)	講堂	60名	谷口
〈概略〉 北区ゆかりの民俗芸能である「田楽」について、成立などの歴史を様々な史料からひも解く。					
〈ねらい〉 中世芸能史の理解を深める。歴史を通じて田楽への理解を深める。			〈対象〉 一般		
〈備考〉 新規講座。					
10	第43回新聞から読む考古学ー2025年上半期を振り返るー	7月27日(日)	講堂	60名	鈴木
〈概略〉 新聞にぎわす考古学に関する記事の中から、これは!と思う記事をピックアップし、解説する講座。今回は2025年上半期の記事を取り上げる。					
〈ねらい〉 考古学の世界を楽しみ、理解を深める。			〈対象〉 一般		
〈備考〉 継続講座。					
11	北区の戦争と平和～戦後80年に考える～	8月11日(月・祝)	講堂	60名	田中
〈概略〉 戦後80年の節目の年にあたって、「軍都」となっていった北区の歴史、戦時・終戦・戦後の生活の様子について、『北区史』と近年の民俗調査・古文書調査などをもとに解説する。					
〈ねらい〉 戦後80年にあらためて、戦争が人々の暮らしに与えた影響をふりかえり、平和について考える機会とする。			〈対象〉 一般		
〈備考〉 新規講座。					
12	子ども向け体験講座「親子で参加!土器づくり教室」	9月21日(日)	体験学習室	12組 24名	鈴木
〈概略〉 縄文人と同じ輪積み技法で小さいサイズ(1kg)の縄文土器を作る。					

<p>〈ねらい〉</p> <p>考古学への関心を高める。親子時間の提供。</p>			<p>〈対象〉</p> <p>小学3年生～中学生と保護者 2名1組。</p>		
<p>〈備考〉</p> <p>新規講座。</p>					
13	北区と周辺の幕末維新	9月28日(日)	講堂	60名	佐々木
<p>〈概略〉</p> <p>幕末～明治期の北区域とその周辺の様子を紹介する。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>地域の歴史に対する興味・関心を喚起する。</p>			<p>〈対象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備考〉</p> <p>新規講座。</p>					
14	「《移築復原20周年記念》『旧松澤家住宅』古民家解説会」	10月13日(土)AM・PM 計2回	北区ふるさと農家体験館	各20名	田中
<p>〈概略〉</p> <p>旧松澤家住宅の移築復原工事を中心に解説を行う。通常非公開の屋根裏にもあがって解説する。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>古民家に対する理解を促進し、ふるさと農家体験館の周知を図る。</p>			<p>〈対象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備考〉</p> <p>東京文化財ウィーク参加事業。継続講座。</p>					
15	学芸員リレー講座「未定」	10月19日・11月9日・12月21日各(日) 全3回	講堂	60名	安武 工藤 久保埜
<p>〈概略〉</p> <p>3名の学芸員が共通のテーマについてそれぞれの視点で語る。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>博物館の周知、興味関心を促す。服飾文化への興味関心を促す。</p>			<p>〈対象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備考〉</p> <p>新規講座 第1回 安武 第2回 工藤 第3回 久保埜</p>					
16	子ども向け体験講座「あすかやまのどんぐりでおもちゃをつくろう！」	11月8日(土) ※荒天時は翌日に順延	体験学習室 野外	10組 20名	安武
<p>〈概略〉</p> <p>自然観察をしながら、飛鳥山公園内を散策して拾ったどんぐりを使って、でんでんだいこやマラカラスを作る。</p>					

<p>〈ねらい〉</p> <p>親子時間の提供。自然に親しむ。利用者層の拡大。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>未就学児（3～5歳児）と保護者</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。</p>					
17	歩く勉強会—旧道を味わいつく そうー	11月22日（土）	講堂 野外	25名	久保埜
<p>〈概 略〉</p> <p>旧道をたどりながら、周辺地域の変遷を学ぶ。滝野川・田端エリアを予定。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>地域への関心と理解を一層深める。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。</p>					
18	文化財講演会	11月23日（日）	講堂	60名	山口
<p>〈概 略〉</p> <p>ユネスコ無形文化遺産に登録された「伝統的酒造り」で注目される日本酒について、酒造りや日本酒の魅力と醸造試験所の成果などについて講演会を行う。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>再び注目を集める日本酒について講演会を行うことで 重要文化財「旧醸造試験所第一工場」の魅力を広くアピールし北区の魅力向上につなげる。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。</p>					
19	子ども向け体験講座「あすかやまでbingoゲーム！」	12月6日（土）	体験学習室 野外	10組 20名	安武
<p>〈概 略〉</p> <p>飛鳥山公園で採集できるものを材料にしてbingo盤（標本箱を転用）を作って、bingoゲームをする。ゲーム終了後、bingo盤はお持ち帰り可。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>親子時間の提供。自然に親しむ。利用者層の拡大。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>未就学児（3～5歳児）と保護者</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座。</p>					
20	文化財公開講座 稲付の餅搗唄の実演と体験	12月6日（土）	北区ふるさと農家体験館	300名	山口
<p>〈概 略〉</p> <p>稻付の餅練唄・餅搗唄保存会と西が丘小学校の生徒による餅搗唄の実演と踊りの披露。来館者によ</p>					

る餅つきの体験を行う。					
〈ねらい〉 北区指定有形民俗文化財である稻付の餅搗唄を区民に広く周知し、餅搗唄の保存継承を図る。			〈対象〉 一般		
〈備考〉 継続講座。					
21	子供向け体験講座「浮かぶ紙おもちゃ！？すばんぼを作つて遊ぼう！」	12月7日（日）	講堂	12組 24名	谷口
〈概略〉 江戸時代の子どもたちが作つて遊んでいたおもちゃ、すばんぼを作る。					
〈ねらい〉 博物館に親しむ。江戸の紙おもちゃを通じて、江戸文化に触れる。			〈対象〉 小学生と保護者		
〈備考〉 継続講座。					
22	考古資料を見て学ぶ4	12月13日（土）	講堂	24名	牛山
〈概略〉 区内で実施された発掘調査での出土資料を直に見て（触れて）、資料の見かた等を学ぶ。					
〈ねらい〉 区内で実施された発掘調査成果の普及、活用。区内遺跡や考古資料への理解や関心を高める。			〈対象〉 一般		
〈備考〉 継続講座。					
23	子ども向け体験講座「福笑いを作つて遊ぼう」	12月14日（日）	体験学習室	16名	佐々木
〈概略〉 博物館で正月の昔遊びを実施する。					
〈ねらい〉 歴史や博物館に親しむ。			〈対象〉 小学校3年生以上		
〈備考〉 継続講座。					
24	子ども向け体験講座「博物館で年中行事ミニしめ縄飾りをつくろう！」	12月20日（土）	講堂	8組 16名	工藤
〈概略〉 正月準備を始める正月事始めのころ、お正月ってどんな行事か？何を用意するのか？などを解説しながら、水引で小さい輪飾りを作る。					

〈ねらい〉 年中行事や昔の人々の季節感への理解を促す。		〈対象〉 小学3年生以上とその保護者			
〈備考〉 新規講座。					
25	子ども向け体験講座「いろんな時代の火おこしに挑戦！」	1月10日（土）	搬入口周辺	10組 20名	安武
〈概略〉 もみぎりや舞ぎり、火打石など、さまざまな時代の火おこしを体験する。					
〈ねらい〉 昔ながらの道具に親しむ。		〈対象〉 小学生と保護者			
〈備考〉 新規講座。					
26	大人の浮世絵鑑賞講座	1月17日（土）	講堂	30名	工藤
〈概略〉 収蔵資料の浮世絵を用いて、資料をよく観察しながら発見や感想、疑問などを話し合い、コミュニケーションを通じて鑑賞を深める。					
〈ねらい〉 対話型干渉という鑑賞法を用いて、講座参加者に主体的・対話的で深い学びを促す。		〈対象〉 一般			
〈備考〉 継続講座					
27	第44回新聞から読む考古学－ 2025年下半期を振り返る－	1月25日（日）	講堂	60名	鈴木
〈概略〉 新聞をぎわす考古学に関する記事の中から、これは！と思う記事をピックアップし、解説する講座。今回は2025年下半期の記事を取り上げる。					
〈ねらい〉 考古学の世界を楽しみ、理解を深める。		〈対象〉 一般			
〈備考〉 継続講座。					
28	祭りが伝える地域のつながり ～「熊野神社の白酒祭」と「稻付の餅搗唄」～	1月31日（土）	講堂	30名	田中
〈概略〉 2月に開催披露される二つの区指定無形民俗文化財（「熊野神社の白酒祭」2月7日（日）開催、「稻付の餅搗唄」2月13日（金）開催予定）について、祭事に使われた道具（館蔵資料）も実見しながら、内容や歴史、見どころについて解説する。					

<p>〈ねらい〉</p> <p>区指定無形民俗文化財について理解し、関心を高める。</p> <p>開催前に講座を実施することで、実際の無形民俗文化財への関心を高める。</p>		<p>〈対象〉</p> <p>一般</p>			
<p>〈備考〉</p> <p>継続講座。</p>					
29	浮世絵でたどる江戸東京の歳時記	2月1日（日）	講堂	60名	久保塁
<p>〈概略〉</p> <p>当館所蔵の浮世絵系版画を通して、近世・近代の四季の行楽や行事をたどる。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>所蔵資料の活用。浮世絵に関心がある新規利用者の来館を促す。</p>		<p>〈対象〉</p> <p>一般</p>			
<p>〈備考〉</p> <p>新規講座。</p>					
30	ドイツ人から見た、王子・江戸文化5『王子への大騎行』を歩く	2月7日・21日・3月7日 各（土）全3回	講堂 野外	25名	谷口
<p>〈概略〉</p> <p>1860年に王子を訪問したプロイセン遣日使節オイレンブルク遠征隊が、赤羽根接遇所（現東京都港区）から王子にまでやって来た道のりを歩く。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>外国人見聞録に親しむ。江戸の道に親しむ。</p>		<p>〈対象〉</p> <p>一般</p>			
<p>〈備考〉</p> <p>継続講座。</p>					
31	北区における黎明期の考古学 —弥生時代編—	2月14日（土）	講堂	60名	牛山
<p>〈概略〉</p> <p>「弥生式土器」名称誕生に関わった西ヶ原農事試験場構内貝塚出土の土器、「弥生式土器」という名称を最初に活字にした蒔田鎗次郎が調査を行った田端村道灌山の遺跡について解説する。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>考古学への関心を高める。</p>		<p>〈対象〉</p> <p>一般</p>			
<p>〈備考〉</p> <p>新規講座。</p>					
32	考古学講座〈中級編〉考古学を学ぶ—土器の話—	2月23日（月・祝）	講堂	60名	鈴木
<p>〈概略〉</p> <p>各時代の土器の特徴とその移り変わりについて解説する。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>考古学への関心を高める。新規参加者の獲得。</p>		<p>〈対象〉</p> <p>一般</p>			

<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。</p>					
33	団地と古民家－住まいの変化 100年	2月 28日（土）	野外	30名	山口
<p>〈概 略〉</p> <p>電気やガスのない時代の暮らしと高度成長期の集合住宅の暮らしの変化を、建造物を通して感じてもらう。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>伝統的な古民家の住まいと高度成長期のZDKの住まいの違いを感じてもらう。また、URの展示施設との事業コラボの試みとして実施する。</p>			〈対 象〉	一般	
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座。北区ふるさと農家体験館・URまちとくらしのミュージアムを見学予定。</p>					
34	考古学からみた江戸時代～都市 江戸のなりたち～	3月 1日（日）	講堂	60名	高坂
<p>〈概 略〉</p> <p>考古資料を主体にしつつ、考古学に隣接する諸分野（文献史料や民俗資料、絵画資料など）の資料も援用しながら江戸時代に関する様々なテーマを取り上げる。今回は、東京前史としての都市江戸の成り立ちについて解説する。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>考古資料および他分野の資料を用いて分野横断的に江戸時代の様々なテーマについて解説することにより、参加者に新たな発見を促す。</p>			〈対 象〉	一般	
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座。</p>					
35	考古楽講座＜中級編＞ 「考古学を学ぶ－銅鏡の話－」	3月 8日（日）	講堂	60名	安武
<p>〈概 略〉</p> <p>青銅鏡について詳しく解説する。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>考古資料への興味関心の喚起。</p>			〈対 象〉	一般	
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。</p>					
36	北区の旧村地域を歩く～神谷村 編～	3月 15日（日）	野外	25名	工藤
<p>〈概 略〉</p> <p>江戸時代の旧村地域を、参加者とともに歩くことで、現代に残る民俗やその民俗がどのように変化してきたかを紹介する。今回は対象地域を旧神谷村地域とし、参加者とともに現地調査をおこなう。</p>					

〈ねらい〉 自身が暮らす地域を見直し、新たな視点を獲得することで地域への愛着を深める。		〈対象〉 一般		
〈備考〉 継続講座。				
37	考古学講座 遺跡に行こう！	3月 21 日 (土)・22 日 (日) 全2回	講堂 野外	25 名 鈴木
〈概略〉 各地に残る遺跡を訪ね、体感する講座。探訪先は未定。				
〈ねらい〉 考古学への関心を高める。		〈対象〉 一般		
〈備考〉 継続講座。				

★展示関連講座 9講座 14回

No.	事業名	開催予定日	会場	定員	担当
1	春期企画展関連事業「企画展示解説会」	4月 19 日 (土)・6月 14 日 (土) 各AM・PM 計4回	特別展示室	各回 15名	安武
〈概略〉 春期企画展の内容を、詳しく解説する。					
〈ねらい〉 展示の理解を深める。		〈対象〉 AM一般 PM小中学生			
〈備考〉 新規講座。申込不要、先着順。					
2	春期企画展関連事業「特別講演会 丸木舟づくりのはなし」	4月 20 日 (日)	講堂	60 名	安武
〈概略〉 春期企画展の内容に関連して、外部講師を招き、ご講演いただく。					
〈ねらい〉 展示の理解を深める。		〈対象〉 一般			
〈備考〉 新規講座。講師：山田昌久氏（東京都立大名誉教授）					
3	春期企画展関連事業「北区遺跡学講座 Special 中里遺跡・中里貝塚」	5月 18 日 (日)	講堂 野外	25 名	安武
〈概略〉 丸木舟が出土した中里遺跡および至近に位置する中里貝塚について、博物館内で座学を行なったのちに、現地を見学する。					

〈ねらい〉 展示の理解を深める。		〈対象〉 一般		
〈備考〉 新規講座。				
4	春期企画展関連事業「特別講演会 貝輪のはなし」	6月1日（日）PM	講堂	60名 安武
〈概略〉 春期企画展の内容に関連して、外部講師を招き、ご講演いただく。				
〈ねらい〉 展示の理解を深める。		〈対象〉 一般		
〈備考〉 新規講座。講師：忍澤成視氏（東京大学特任研究員）				
5	春期企画展関連事業「体験講座 貝輪をつくろう！」	6月1日（日）AM	体験学習室	20名 安武
〈概略〉 縄文人と同じ方法で、貝殻製の腕輪をつくる。				
〈ねらい〉 展示の理解を深める。		〈対象〉 一般		
〈備考〉 新規講座。講師：忍澤成視氏（東京大学特任研究員）				
6	特別展覧会付帯事業「作家が語る！作品解説」	10月11日（土）・25日（土）11月3日（月・祝）計3回	特別展示室	各20名 久保埜
〈概略〉 工芸への理解と作品の鑑賞力をより高めることを目的として、出展作品の技法や特徴などについて各作家に解説していただく。感染防止対策のため、会場に定員を設定して行う。				
〈ねらい〉 美術や工芸に関心がある層の来館を促す。		〈対象〉 一般		
〈備考〉 継続講座。日程変更の可能性あり。				
7	特別展覧会付帯事業「陶芸を楽しみ学ぶ講座」	10月12日（日）	体験学習室	20名 久保埜
〈概略〉 工芸技術への理解と作品の鑑賞力をより高めることを目的として、工芸作家展に参加する作家を講師に迎えて、製作工程や技術に関して学びながら実際に作品を製作する。				
〈ねらい〉 美術や工芸に関心がある層の来館を促す。				

<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。日程変更の可能性あり。講師：高橋和則氏（北区美術会会員）</p>									
8	特別展覧会付帯事業「金工を樂しみ学ぶ講座」	10月26日（日）	体験学習室	11名	久保埜				
<p>〈概 略〉</p> <p>工芸技術への理解と作品の鑑賞力をより高めることを目的として、工芸作家展に参加する作家を講師に迎えて、製作工程や技術に関して学びながら実際に作品を製作する。</p>									
<table border="1"> <tr> <td>〈ねらい〉</td><td>〈対 象〉</td></tr> <tr> <td>美術や工芸に関心がある層の来館を促す。</td><td>一般</td></tr> </table>						〈ねらい〉	〈対 象〉	美術や工芸に関心がある層の来館を促す。	一般
〈ねらい〉	〈対 象〉								
美術や工芸に関心がある層の来館を促す。	一般								
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。日程変更の可能性あり。講師：金森美恵子氏（北区美術会会員）</p>									
9	スポット展示関連講座「北区と種苗業」	11月24日（月・祝）	講堂 野外	25名	谷口				
<p>〈概 略〉</p> <p>北区の種苗業についての座学を行った後、現地を歩く。</p>									
<table border="1"> <tr> <td>〈ねらい〉</td><td>〈対 象〉</td></tr> <tr> <td>北区の種苗業についての理解を深める。</td><td>一般</td></tr> </table>						〈ねらい〉	〈対 象〉	北区の種苗業についての理解を深める。	一般
〈ねらい〉	〈対 象〉								
北区の種苗業についての理解を深める。	一般								
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座。</p>									

★ 夏休みわくわく講座 13講座 27回

No.	事業名	開催予定日	会場	定員	担当				
1	親子で浮世絵鑑賞講座	7月20日（日）	体験学習室	8組 24名	工藤				
<p>〈概 略〉</p> <p>浮世絵とは何か、どうやって作られるかなどの簡単に説明しながら、当館所蔵の浮世絵を用いてグループで浮世絵の鑑賞をする。</p>									
<table border="1"> <tr> <td>〈ねらい〉</td><td>〈対 象〉</td></tr> <tr> <td>対話型鑑賞という鑑賞法を用いて、講座参加者に主体的。対話的で深い学びを促す。</td><td>小学生2名までと保護者の2名1組</td></tr> </table>						〈ねらい〉	〈対 象〉	対話型鑑賞という鑑賞法を用いて、講座参加者に主体的。対話的で深い学びを促す。	小学生2名までと保護者の2名1組
〈ねらい〉	〈対 象〉								
対話型鑑賞という鑑賞法を用いて、講座参加者に主体的。対話的で深い学びを促す。	小学生2名までと保護者の2名1組								
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。</p>									
2	夏休み土器づくり教室	7月23日（水）・8月1日（金）・14日（木）・23日（土） 計4回	体験学習室	各回 12組 24名	鈴木 安武				
<p>〈概 略〉</p> <p>縄文人と同じ輪積み技法で小さいサイズ（1kg）の縄文土器を作る。</p>									
<table border="1"> <tr> <td>〈ねらい〉</td><td>〈対 象〉</td></tr> <tr> <td>当時と同じ方法で作ることで、その苦労や工夫を知ってもらい、</td><td>小学3年生～中学生と保護者</td></tr> </table>						〈ねらい〉	〈対 象〉	当時と同じ方法で作ることで、その苦労や工夫を知ってもらい、	小学3年生～中学生と保護者
〈ねらい〉	〈対 象〉								
当時と同じ方法で作ることで、その苦労や工夫を知ってもらい、	小学3年生～中学生と保護者								

歴史に興味を持つてもらう。親子で参加することでふれあいの場とする。		の2名1組		
(備 考) 親子で1つの土器を作る。継続講座。				
3	江戸時代の玩具「泥めんこ」をつくってあそぼう！	7月 24 日 (木)	体験学習室	10名 高坂
〈概 略〉 区内遺跡から出土している「泥めんこ」を参考に粘土でつくり、江戸時代の遊び方を参考にして実際に遊んでみる。				
〈ねらい〉 考古資料を参考にして作製した玩具を使って実際に江戸時代当時の方法で遊ぶことにより、江戸時代の遊びを体験しながら学ぶ。		〈対 象〉 小学生		
(備 考) 継続講座。				
4	チャレンジ！昔の手仕事～藍染	7月 30 日 (水)・31日 (木)・8月 6 日 (水)・ 7日 (木) 計4回	体験学習室	各回 16名 久保埜
〈概 略〉 親子を対象に、藍染の歴史を学びながら、絞り染めのハンカチを作る。				
〈ねらい〉 低年齢層の利用を促す。		〈対 象〉 小学生2名までと保護者1名の2~3名1組		
(備 考) 継続講座。				
5	和綴じメモ帳を作つてみよう (親子で作ろう編)	8月 2 日 (土)	体験学習室	8組 16名 佐々木
〈概 略〉 和本の形態の一つである四ツ目綴じにチャレンジし、でメモ帳を作る。				
〈ねらい〉 昔の本の作り方を知る。針と糸、でんぶん糊など、昔からある道具を使ってモノづくりに挑戦する。博物館に親しむ。		〈対 象〉 小学3年生以上と保護者の2名 1組		
(備 考) 継続講座。				
6	江戸の縁起物【絵馬】を作ろう！	8月 3 日 (日)・17 日 (日) 計2回	体験学習室	各回 8組 16名 工藤
〈概 略〉 江戸時代の信仰に関する道具である絵馬について理解を深める。1組で2つの絵馬を制作し、1つ				

<p>は王子稻荷神社のなど区内にある神社の絵柄を描き、もう一つは子どもたちの願いをこめたオリジナルデザインの絵馬を描く。</p>				
<p>〈ねらい〉 江戸時代の信仰文化を理解する。</p>		<p>〈対 象〉 小学生以上と保護者の2名1組</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>				
7	和のデザインで団扇作り	8月8日(金)・22日(金) 各AM・PM 計4回	体験学習室	各回 16名 田中
<p>〈概 略〉 団扇が江戸時代から身近な道具であったこと、自分で紙を張り替えて使っていたことを説明したのち、千鳥・流水・菱など、和の模様を使った切絵で団扇をつくる。</p>				
<p>〈ねらい〉 江戸時代は道具（団扇）を修理しながら大切に使っていたことを伝える。自分だけの団扇を作ることで、モノづくりの楽しさを知ってもらう。</p>		<p>〈対 象〉 ①②小学3年生以上1・2名と保護者の1~2名1組 ②小学1・2年生と保護者の2名1組 ④小学3年生以上の子供のみ</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>				
8	しゃぼんであそぼう！	8月9日（土）	体験学習室	10組 20名 安武
<p>〈概 略〉 いろんな道具を使って、しゃぼん玉遊びをした後に、バブルアートの方法（水彩絵の具を混ぜたシャボン玉で絵を描く）でポストカードを作る。</p>				
<p>〈ねらい〉 利用者層の拡大。親子時間の提供。</p>		<p>〈対 象〉 3~5歳児と保護者の2名1組</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。対象年齢未満の兄弟同伴可。</p>				
9	夏休み勾玉づくり教室	8月10日(日)・13日(水)・20日(水)・24日(日) 計4回	体験学習室	各回 12組 24名 鈴木 安武
<p>〈概 略〉 区内でも出土している勾玉を、当時と同じように作る。石は「青田石」を予定。</p>				
<p>〈ねらい〉 当時と同じ方法で作ることで、その苦労や工夫を知ってもらい、歴史に興味を持ってもらう。親子で参加することでふれあいの場とする。</p>		<p>〈対 象〉 小学3年生～中学生と保護者の2名1組</p>		

<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。保護者も製作可。</p>					
10	作って学ぼう！江戸時代のミニキッチン	8月 15 日（金）	講堂	12組 24名	谷口
<p>〈概 略〉</p> <p>館所蔵のおもちゃ絵「おかまへっついおはちおぜんこしらい」に描かれた昔の調理道具を絵に描かれた指示の通りに作る。なお、あわせて描かれた道具の実物資料を当館収蔵品で観察し、その使い方を学びながら作る。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>江戸時代の台所事情についての学びを深めながら、当時のおもちゃ絵を体感することで、江戸時代の文化について理解を深める</p>					
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。</p>					
11	変体仮名を書いて見よう！	8月 16 日（土）	体験学習室	10名	佐々木
<p>〈概 略〉</p> <p>昔の文字に親しむ講座。変体仮名を覚えて書いてみる。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>歴史や博物館に親しむ。</p>					
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座。</p>					
12	はくぶつかん探検隊	8月 19 日（火）	講堂 館内	16名	谷口
<p>〈概 略〉</p> <p>普段は入れない博物館のバックヤードを担当学芸員の案内で探検する。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>博物館に愛着を持ってもらう。博物館への理解を深める。</p>					
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。</p>					
13	和綴じメモ帳を作ってみよう (一人でチャレンジ編)	8月 21 日（木）AM・ PM 計 2 回	体験学習室	AM 12組 24名 PM 12名	佐々木
<p>〈概 略〉</p> <p>和本の形態の一つである四ツ目綴じにチャレンジし、でメモ帳を作る。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>昔の本の作り方を知る。針と糸、でんぶん糊など、昔からある道具を使ってモノづくりに挑戦する。博物館に親しむ。</p>					
<p>〈対 象〉</p> <p>AM 小学校 3 年生以上 PM 小学校 5 年生以上</p>					

〈備 考〉

継続講座。

4. 広報

No.	事業名	実施予定期	会場	担当
1	SNS(X・Instagram・Facebook)	通年	一	工藤
〈概 略〉				
企画展の情報や講座の開催報告、学芸員の仕事、飛鳥山の様子などをSNSで発信する。				
〈ねらい〉 博物館活動を周知し、理解者・応援者を増やす。			〈対 象〉 一般	
〈備 考〉 担当は取りまとめ。				

5. 学校対応・支援事業

No.	事業名	実施予定期	会場	担当
1	来て、見て、知って！昔の暮らし	1月6日(火)～ 2月28日(土)	特別展示室 講堂・館外	安武
〈概 略〉 館所蔵の大正初期から昭和の中ごろの生活用具を展示するとともに、館所蔵の古写真を展示し、暮らしの変化を紹介する。また、昔の道具（既製品）を使う体験事業（かまど体験・せんたく体験などを予定）とセットで行う。				
〈ねらい〉 昔の人々の暮らしの理解と時代の変化を学ぶ機会とする。			〈対 象〉 区内小学校中学年	
〈備 考〉				
2	体験授業（考古学）	通年（依頼に応じて実施）	体験学習室	鈴木 安武
〈概 略〉 土器作りや勾玉作りを当時と同じ方法で行う。				
〈ねらい〉 大昔の人の技術や工夫を学ぶ。			〈対 象〉 区内小学校 6 年生	
〈備 考〉				
3	出張授業	通年（依頼に応じて実施）	依頼先学校	学芸員

<p>〈概 略〉</p> <p>北区の歴史や自然、民俗に関する学校に赴き授業を行う。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>北区の歴史や自然、民俗についての理解を深める。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>区内の小学校・中学校・高等学校</p>	
<p>〈備 考〉</p> <p>内容によって担当学芸員を決定。</p>				
4	職場訪問・体験	通年（依頼に応じて実施）	館内各所	安武 佐々木
<p>〈概 略〉</p> <p>博物館の業務に関して話をしたり、体験をしてもらう。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>博物館の業務の理解を深めてもらう。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>区内の中学校・高等学校</p>	
<p>〈備 考〉</p> <p>担当は窓口。</p>				
5	教員のための博物館 2025「先生のためのオープンミュージアム」	7月25日(金)・26日(土)	館内 体験学習室	安武 久保塙
<p>〈概 略〉</p> <p>館内見学（常設展示室・バックヤード）や体験学習のデモンストレーション、出張授業の紹介を行う。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>教員に博物館に親しみを持ってもらい、博物館や学芸員、博物館資料の活用について知つもらう。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>区内在職の小中学校教員</p>	
<p>〈備 考〉</p>				

6. 学芸員実習

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	博物館実習	8月5日（火）～8月17日（日）	館内	鈴木
<p>〈概 略〉</p> <p>準職員として本館学芸員とともに日常の博物館業務に携わる。子ども向け事業の準備および実施のアシスタントや館蔵資料の整理作業などを行う。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>学芸員の仕事を実際にを行い、体験することで理解を深める。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>大学等で学芸員養成課程を受講している人</p>	
<p>〈備 考〉</p> <p>令和7年1月に募集をかけ、最大4名を受け入れ。担当は窓口。</p>				

2	見学実習	通年（依頼に応じて実施）	館内	鈴木
〈概 略〉				
一般の人が普段はいることができないバックヤードを含めた館内を見学し、学芸員が解説する。				
〈ねらい〉 博物館の実態を知ってもらう。 〈対 象〉 学芸員養成課程を開講している大学				
〈備 考〉 担当は窓口。				

7. 出張事業

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	回想法プログラム「昔の道具で思い出がたり」	通年（依頼に応じて実施）	依頼機関	久保塁
〈概 略〉 博物館が所蔵する古い生活道具を通して、昔の記憶をたどるプログラム。依頼のあった施設まで資料を携えて赴き、資料を見て、触れて、思い出を語ってもらう。				
〈ねらい〉 博物館資料の活用。博物館の社会への有用性を探る。 〈対 象〉 高齢者介護施設など				
〈備 考〉				
2	一般講義	通年（依頼に応じて実施）	依頼機関 講堂 体験学習室	学芸員
〈概 略〉 外部機関からの依頼に応じて講義を行う。				
〈ねらい〉 依頼機関への協力。博物館のPR。 〈対 象〉 一般				
〈備 考〉 当館で行う場合でも外部依頼の場合はこれに含む。				

8. 団体見学

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	一般見学	通年（依頼に応じて実施）	常設展示室	鈴木
〈概 略〉 常設展示室の団体見学の受け入れ。解説を希望の場合は内容に応じて各学芸員が行う。				

〈ねらい〉 北区の歴史や自然、文化を知ってもらう。解説はその理解を深め、楽しみ親しんでもらう。		〈対象〉 一般団体		
〈備考〉 担当は窓口。内容に応じて各学芸員が対応。				
2	学校等見学	通年（依頼に応じて実施）	常設展示室	鈴木
〈概略〉 常設展示室の団体見学の受け入れ。解説を希望の場合は内容に応じて各学芸員が行う。				
〈ねらい〉 北区の歴史や自然、文化を知ってもらう。解説はその理解を深め、楽しみ親しんでもらう。		〈対象〉 幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校・専門学校・大学校		
〈備考〉 担当は窓口。				

9. 資料の貸出・利用

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	資料の貸出	通年（依頼に応じて実施）	—	高坂 佐々木
〈概略〉 館蔵資料を貸し出す。				
〈ねらい〉 他館等への協力。博物館のPR。		〈対象〉 博物館・研究機関・学校など		
〈備考〉				
2	資料の利用	通年（依頼に対して実施）	—	高坂 佐々木
〈概略〉 館蔵資料の撮影や画像データの提供などを行う。また、研究目的での資料の調査等へ協力する。				
〈ねらい〉 個人や会社などへの協力。博物館のPR。		〈対象〉 個人・博物館・学校・会社など		
〈備考〉				

10. 資料の収集

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	資料の寄贈	通年（依頼に応じて実施）	—	久保埜
〈概 略〉				
北区やその周辺地域に関する資料等の寄贈を受け入れる。				
〈ねらい〉		〈対 象〉		
地域資料の保護と活用。		一般		
〈備 考〉				
2	資料の購入	通年（必要ならびに現出に応じて実施）	—	学芸員
〈概 略〉				
北区やその周辺地域に関する資料等を購入する。				
〈ねらい〉		〈対 象〉		
地域資料の保護と活用。		古美術店・古書店 など		
〈備 考〉				

11. 資料の保全

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	環境調査	5月～6月	館内各所	久保埜
〈概 略〉				
虫害・カビの現状を把握するとともに、防除策を総合的に検討するため、全館を対象としたムシ・カビ・塵埃・温湿度を含む総合調査を実施する。				
〈ねらい〉		〈対 象〉		
環境保全。		館内		
〈備 考〉				
2	燻蒸	6月28日（土）～7月6日（日）	特別収蔵庫 一般収蔵庫	久保埜 佐々木
〈概 略〉				
館所蔵の博物館資料と、それらが収められている一般収蔵庫及び特別収蔵庫の施設について、殺虫、殺卵、殺カビ効果のある薬品を用いて燻蒸を行う。				
〈ねらい〉		〈対 象〉		
資料の保全。		各種資料		

〈備 考〉

臨時休館日は7月1日（火）～4日（金）の予定。